



二〇二四年度

中国古典文化講座

中国文化をかたち作るもの

徽州商人と「皖派」の学問

清代儒学の側面

講師

尾崎順一郎氏

立命館大学文学部 准教授

会場

立命館大学衣笠キャンパス
立命館孔子学院講義室
(国際平和ミュージアム3階)
※オンラインライブ配信あり

6/22(土)
13:00~14:30

本年は清代中期の代表的な学者である戴震（1724-1777）の生誕300周年にあたる。

その戴震は安徽省徽州府の出身であり、師の江永や同門の程瑶田・金榜らとともに、徽州の古名に由来する「皖派」の学者と称されることがある。そして、この徽州という土地は徽州商人や徽商などと称される有力商人の活動拠点でもあった。この「皖派」と称される学者たちが徽州商人と密接な関係にあったことは想像に難くないだろう。「皖派」の人々の学問的成果や方法論などは、既に様々な角度から検討が行われていることから、今回は「皖派」と称される学者たちがそれぞれの学問を形づくっていく現場において、徽州商人という存在がどのように関わっていたのかということ視野に入れて、「皖派」の学問の特色について考えてみたい。

連絡先

立命館孔子学院（立命館大学 国際平和ミュージアム3階）

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内
TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429 MAIL：koza@st.ritsumeikan.ac.jp
HP：https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/

参加無料
(事前申込制)

詳細はこちらから

